



# エターナル・ラブ・イスラエル



☆ ニュースレター33号 ☆



永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたに、誠実を尽くし続けた。

おとめイスラエルよ。わたしは再びあなたを建て直し、あなたは建て直される。(エレミヤ 31:3~4)

●事務局: 〒226-0014 横浜市緑区台村町 186 番地 Tel:090-8729-0856

●メール: eternalloveisrael@gmail.com

●ホームページ: <http://eli.holy.jp>

●銀行口座: 三菱東京 UFJ 銀行 武蔵新城駅前支店 普通預金 0909009 エターナル・ラブ・イスラエル

●郵便振り込み: 00200-9-79214 エターナル・ラブ・イスラエル



代表 宮本 純子(聖契神学校卒業、WMTC 世界宣教研修センター卒業)

## ☆「イスラエルとパレスチナの平和を願う集い」☆

愛する皆様。エターナル・ラブ・イスラエルのために尊いご支援をくださりましてありがとうございます。

10月6日に開催した「イスラエルとパレスチナの平和を願う集い」は祝福され、大勢の方が来られて大盛況となりました。皆さまのお祈りを心から感謝いたします。

### 「ダニー・ネフセタイさんの話から教育の大切さと間違った教育の恐ろしさ。」

廣川 修



ダニーさんは、幼い時から戦闘機のパイロットになりたかった。念願かなって徴兵された軍隊ではパイロット養成コースに入り、よく努力して自分ひとりでも操縦できるまでになった。しかし、あと一歩のところの試験で、40人の枠に対して自分は42位となりパイロットへの道は閉ざされた。そのときはずっと夢見ていた人生の道が閉ざされ悲嘆に暮れた。しかし今、これはとても幸いなことであったと考えている。

戦闘機をすることの目的はたった二つ、①人を殺すこと、②ものを破壊することである。試験に受かってパイロットになった元同僚はまさにその仕事をするようになった。



そもそも軍隊とは、①差別。良い側(味方)と悪い側(敵)②人間のランク付け。上の命令は絶対③人を殺しても罪にならない④武力による解決のようなどころであり、その中であって、自分もパイロットになっていれば、堂々とたくさんの人を殺していたはずである。自分も周りの中東、パレスチナの人々は悪い人、敵であると教育されており、心の底から信じて疑っていなかった。それがくつがえされたのは除隊後日本に来て、そこで中東系の人たちと出会い、彼らとも普通にちゃんと話げできたことであつた。



「テロ行為はなくせる」テロ行為は、武力によって抑えられて解決するのではなく、テロ行為をする必要がなくなって初めてなくなるものである。1993年にイスラエルとパレスチナの紛争についてイスラエル軍の撤退とパレスチナ自治が合意された。この時のイスラエルのラビン首相は、かつてイギリスに統治されていた時代にテロ行為を行い指名手配されていたひとりでもあつた。しかしイスラエルは建国が承認され、自分たちも国造りに熱心に取り組み、テロ行為をする必要もなくなり今日に至っている。今のパレスチナの現状についてもこのことが応用されるだろう。

ダニーさんは、日本に40年ほど住んで家具職人として、また平和、環境保護への啓発運動をされている方です。おかげで本当によい学びの時を得られました。ありがとうございました。

## ☆ロシュ・ハシャナ ユダヤ新年5785年を迎えて☆

森栄 由紀夫



シャナートバ。昨年に続いて、今年も宮本先生にお誘いをいただいてユダヤの新年会に参加致しました。流れは理解していたので落ち着いて楽しめました。

特に今年は、昨年、初めて挨拶をした日本語のできるユダヤの若者が隣に座ってくれたのでいろいろなお話ができました。少子化や移民の問題から、結婚、最近のアメリカ、日本での働き方など様々な話題に及びました。驚いたのは、アメリカ育ちの彼はヘブライ語を日本人が書いた日本語のテキストで勉強していた事でした。ヘブライ語の学びは日本人もアメリカ系ユダヤ人も同じスタートラインに立っているのだと思いました。

新年会の途中では日本の宴会と同じく何回か手拍子で歌が歌われました。ご馳走を食べながらおしゃべりをして楽しんでいる雰囲気も宴会です。

祈りやラビのお話の中に何回も「贖い」という言葉がでて来ました。

ユダヤ人は贖いを大切にしていると感じました。クリスチャンの私としては、動物のささげ物ではなく、全く罪の無い人間としてこの世に来られたイエス様の贖いの大切さをイエス様と同じユダヤの人々が、気がつく日が必ずやってくると思いました。

贖いの意味もわからなかった私がイエス様の贖いを教えてもらって信じたからです。とても有意義な新年会でした。



## ☆ヨム・キプール☆

今年のヨム・キプール(大贖罪日)は、10月11日の日没からでした。

ユダヤ新年(ラッパの祭り)からヨム・キプール(大贖罪日)第七の月ティシュリ10日目までの10日間は、畏れの日々であり、罪を悔い改める特別な日々です。

ヨム・キプール(大贖罪日)は、レビ記16章に規定されるユダヤ教の祭日で、最も厳粛な日です。一年で最も聖なる日の一つで、ユダヤ人は自分の歩みを振り返り、罪を徹底的に告白して悔い改めます。聖書を読み、断食をもって主の前に罪の赦しを求め、この日は断食をします。この日、全ての商店は閉店し、公共機関も完全に停止します。

「その日のうちは、いかなる仕事もしてはならない。その日が宥めの日であり、あなたがたの神、主の前であなただがために宥めがなされるからである。」(レビ記23章28節)

レビ記16章には、イスラエルの民の罪を贖うためのささげ物について記されています。

「この日は、あなたがたをきよめようと、あなたがたのために宥めが行われるからである。あなたがたは主の前ですべての罪からきよくなる。」(レビ記16:30)

イエス・キリストが、ただ一度だけささげられたことにより、信じる者は罪が赦されて聖なるものとされるのです。



「さらに、祭司がみな、毎日立って礼拝の務めをなし、同じいけにえを繰り返し献げて、それらは決して罪を除き去ることができませんが、キリストは、罪のために一つの(いけにえを献げる祭壇)いけにえを献げた後、永遠に神の右の座に着き、あとは、敵がご自分の足台とされるのを待っておられます。なぜなら、キリストは聖なるものとされる人々を、一つのささげ物によって永遠に完成されたからです。」(ヘブル10:11~14)

ヨム・キプールは贖罪の型であり、イスラエル国家が最大の困難、艱難に直面するとき、再臨されるイエスをメシアとして受け入れるとき成就し、イスラエルはみな救われるのです。(ローマ11:25~27 参照)

## ☆スコット 仮庵の祭り☆



今年は、10月16日から23日まで仮庵の祭りをお祝いました。

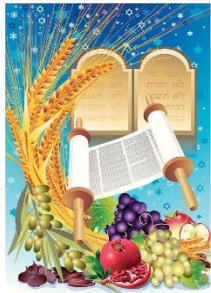
ハバッド・ジャパンも大勢のユダヤ人が集まりました。仮庵の祭り(スコット)、過越祭(パサハ)と七週の祭り(シャブオット)は、ユダヤ教三大祭の一つです。スコットとはヘブライ語で「仮庵」のことです。

ユダヤ暦第七の月の15日から1週間、ナツメヤシの葉や柳などの茂り合った木の枝で仮小屋を庭やベランダに建て、収穫祭でもあるので、秋の収穫物を天井から下げ、遠い昔エジプトを脱出した後カナンの沃地に入るまでの40年間をシナイやネゲブの荒野を彷徨した先祖の苦労を思い、過ごします。

主の祭りによって啓示された神の摂理(ご計画)は、イエス・キリストにおいてすべて成就します。仮庵の祭りは、千年王国を予表しています。艱難時代の後、キリストが統治される千年王国の時、全世界のすべての民が天のエルサレムで仮庵の祭りを祝う預言が示されています。

「エルサレムに攻めて来たすべての民のうち、生き残った者はみな、毎年、万軍の主である王を礼拝し、仮庵の祭りを祝うために上って来る。」(ゼカリヤ 14:16)

## ☆シムハット・トーラー☆



ユダヤ人は、一年をかけてトーラー(モーセ五書)を読みます。仮庵の祭りの最終日、イスラエルの民は申命記の最後の部分を読んだ後、巻物を巻き戻します。そして、シムハット・トーラーの日から新しいサイクルが始まります。シナゴグではトーラーの経典を出し、その周りを踊り、歌って祝います。創世記の最初の部分に戻ります。このことは途切れることのないサイクルを意味しています。

仮庵の祭りは、三大祭りの最後の祭りであり、ユダヤ暦の第七の月に行われます。つまり彼らにとって、最後の祭りの始まりを告げるラツパの音は、新年を告げる音でもあるのです。仮庵の祭りは秋の収穫祭です。この時期は秋まきの麦の種をまく時期でもあります。これらのこともまた、途切れることのないサイクルを意味しています。確かに主は、ノアに対してこのように約束されました。

「この地の続くかぎり、種蒔きと刈り入れ、寒さと暑さ、夏と冬、昼と夜がやむことはない。」(創世記8:22)

主はノアを祝福して、地の続くかぎり同じサイクルが繰り返されると約束されました。この御言葉のとおり毎年、同じ季節が巡ってきます。神様が地を祝福され、与えられている恵みを忘れずに感謝いたします。

## ☆アートミニストリーより☆

☆10月29日～11月4日「アンデパンダン小品展」万国橋ギャラリーにて開催。

☆11月6日～10日「バイブル・アンド・アートミニストリーズ展 2024+チャリティ(能登半島地震被災者支援)」東京都目黒区美術館区民ギャラリーにて開催。

☆11月10日～16日「第76回中美展」東京都美術館第3・4展示室にて開催。

☆12月3日～9日「万国橋・クリスマス祝展 2024」万国橋ギャラリーにて開催。

☆12月25～2025年1月10日「KIZUNA展」ギャラリーアンドリンクス 81にて開催。

☆2025年1月7日～18日「新春プチパン展」仲通りギャラリーにて開催。

☆2025年2月3日～8日「Fulfill2025展」ギャラリーアンドリンクス 81にて開催。

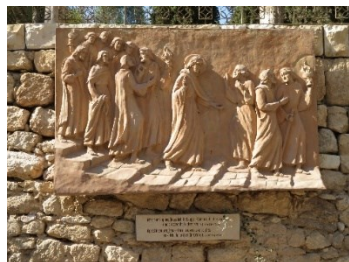
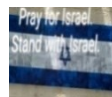
◆ バイブル・アンド・アートミニストリーズ展に出展できることを心から感謝いたします。

聖書の世界を描いた絵やアート作品は、国籍や人種を越えて見る人に直接、福音を伝える力を持っています。アートミニストリーの働きのためにお祈りくださいますようよろしくお願い致します。



## ☆祈りのリクエスト☆

「エルサレムの平和のために祈れ。『おまえを愛する人々が栄えるように。おまえの城壁のうちに、平和があるように。おまえの宮殿のうちには、繁栄があるように。』」(詩篇 122:6~7)



- ☆主のご再臨のために。イスラエルの救いのために。日本のリバイバルのために。
- ☆世界中で起きている戦争、紛争、軍事侵攻、テロ、あらゆる対立などがなくなり、平和となりますように。
- ☆世界情勢が激しく動く中、世界中の政治的指導者たちが、神様からの正しい知恵と判断力が与えられ、政治を進める事が出来ますように。
- ☆イスラエル・ハマス戦争のために。ハマスに拉致された人質が無事に解放されますように。イスラエルのために戦っているイスラエル兵が守られますように。
- ☆レバノン南部のイスラム教シーア派組織ヒズボラとの軍事衝突のために。イランの動きも含めて緊迫する中東情勢のために。敵対する側からのあらゆる攻撃からイスラエルが主に守られますように。
- ☆神様の深遠なるご計画の中で特別に選ばれ、愛されているユダヤ民族、イスラエルの平和が守られ、神様のご計画とみこころが成りますように。
- ☆反ユダヤ主義が世界中に広がりつつあります。ホロコースト(ユダヤ人大虐殺)の歴史を繰り返すことがないように。反ユダヤ主義がなくなりますように。
- ☆世界中からユダヤ人がイスラエルに帰還することが出来ますように。
- ☆日本イスラエルの両国間の関係があらゆる分野で発展し、更に良い外交関係を築くことが出来ますように。
- ☆イスラエルの民、ユダヤ人の救いのために。イエス様を信じて救われる魂が多く起こされますように。
- ☆クリスチャンがユダヤ人迫害をした歴史があります。ユダヤ人とクリスチャンが和解できますように。
- ☆メシアニック・ジューの一人一人の信仰を強めてくださり、イスラエル国内で大胆に伝道できますように。
- ☆エターナル・ラブ・イスラエルのユダヤ人伝道の働きが主に祝福されますように。日本にいるユダヤ人が救われますように。福音を伝えることが出来ますように。

## ☆ユダヤ暦 5785 年 ユダヤの祭り☆



☆ 12月25日~2025年1月2日 ハヌカの祭り (宮潔めの祭り、奉献の祭り)

ハヌカは、ヘブライ語で「奉納」「献堂」という意味です。

ハヌカの祭りは、ユダヤ暦キスレブ月の25日から8日間祝われます。

ハヌカの祭りの起源と由来は、セレウコス朝(312-164 B.C.)時代に遡ります。

シリアを支配するギリシャ軍がエルサレムの神殿を占拠しました。しかし、164 B.C.

ユダ・マカビーたち指導者のもと、ユダヤ民族は勝利し聖地エルサレムを奪還、神殿

を再び奉獻することが出来ました。ハヌカは、たとえ少人数であっても信仰を持って戦い、エルサレムを奪還して神殿を再び奉獻した事の奇跡を記念した祭日です。奪還した神殿には、神聖な油壺が一つ大祭司の封印のまま見つかりました。油は、わずか1日分にも満たなかったのですが、なんと8日間も燃え続けたのです。

ハヌカは別名、「光の祭り」とも呼ばれます。ハヌカには、7枝のメノラーではなく、8枝ともう1枝の蠟燭を灯す枝の9枝の燭台(ハヌキヤ)に、1日ごとに1本ずつ増やして点火していき、8日目に全部が点灯するようにします。点火用のろうそくは、「シャマシュ」という呼び名がついています。灯りは「希望」と「献身」を象徴しています。一晩ごとに蠟燭の灯りをともしながら、祖先から受け継がれてきたように、ユダヤ民族の未来の世代のために、伝統を持続させることに自身を捧げる意味がこめられています。

◆ 皆さまの上に神様の祝福と恵みが豊かにありますよう心からお祈り申し上げます。◆